


ネットを設置する



農地のまわりに魚網や防風ネットなどを張り巡らして、動物の侵入を防ぐ方法です。

 サル	 シカ	 イノシシ
×	△	△



長所

- 比較的安価である。
- からみつき効果が見込める。
- 軽いので設置が比較的容易である。



短所

- 噛み切られて侵入されることがある。
- 動物から農作物が見える。
- 草刈りなどの邪魔になる。



設置場所の条件

ネットは、下からもぐりこまれないようにしっかりと留める必要があります。そのため、ペグなどを打ちやすい場所に設置することが必要です。また、破れる事が多いため、外周に、見回りのための道があるほうが、効果が長持ちします。

網目の大きさや材質に注意！！

ネットは、網目が大きかったり、材質がナイロンなどだと食い破られることがあります。ネットの網目は少なくとも10cm以下のものを使用しましょう。また、ネットに鋼線が編みこまれた獣害専用のタイプも市販されています。ネットで被害を防ぐ場合、このようなものを使用することも必要です。



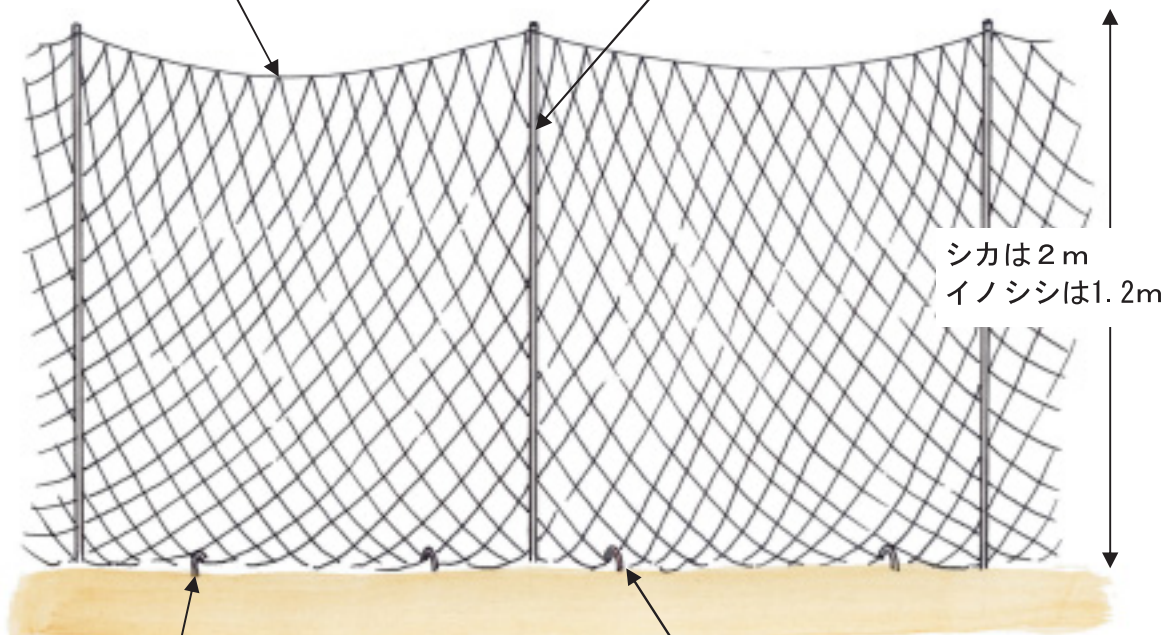
食い破られて侵入されたのり網

※のり古網を再利用するときは、網に塩分が付着しているとシカ等が塩分を得るために網を噛むことがあるので、塩分を取り除いてから使用しましょう。

ネットの設置例

網目は10cm以下のものを使用
全体的に少したるませる

支柱は倒されないように
深く埋める



もぐりこまれないよう
にしっかり留める



鉄筋などで作成。50cmの長さ
で10cm程度先を曲げる

フラスワン・アドバイス



遮光ネットは目隠しとなる

張り方を工夫する


ネットは工夫しだいで防除効果が高まります。たとえば、遮光ネットを併用することにより、作物が動物から見えなくなります。

ネットの下を1m外側にたらしめて留めると、もぐりこみが防げます。また、ネットを斜めに張ると、幅ができ、動物が簡単に飛び越せなくなります。

防護柵を設置する



農地のまわりに金網やトタンなどを張りめぐらして動物の侵入を防ぐ方法です。

 サル	 シカ	 イノシシ
×	○	○



長所

- 効果が高く、耐用年数も長い。
- メンテナンスをあまり必要としない。
- 動物に壊されにくい。



短所

- 草刈りなどの邪魔になる。
- 金網柵などは動物から農作物が見える。
- 掘り起こしにより下から侵入されやすい。



設置場所の条件

防護柵は、斜面などに設置すると、すき間ができやすくなります。また、段差が大きい場所なども向いていません。斜面の近くに設置すると、高さが保てなくなります。高さをだす工夫が必要となります。

よく使われている種類と特徴

トタン

安価で中古が利用できることから、多くの方が利用しています。欠点は、高さが低い（60cm）ことです。使用時は、2枚つなげて使用します。

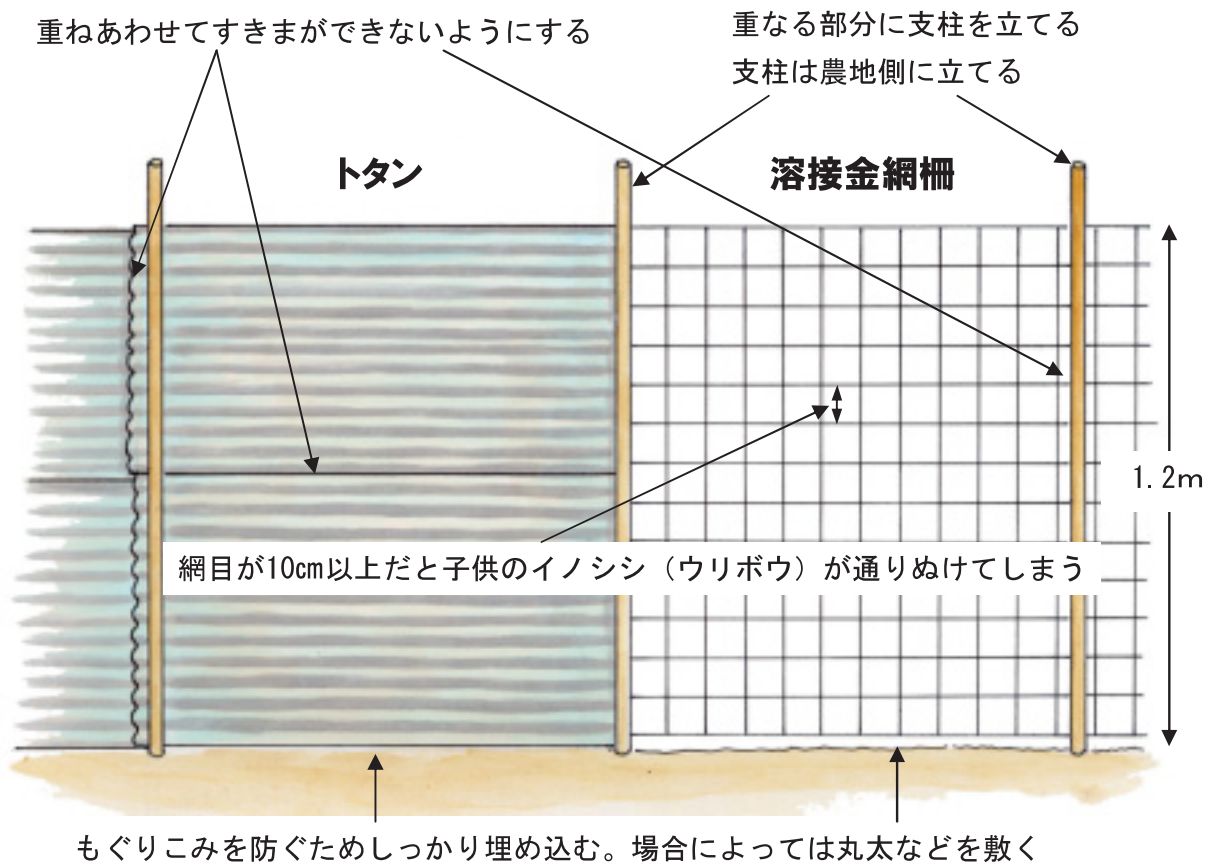
溶接金網柵（ワイヤメッシュ）

値段も手ごろで、耐用年数も長いです。設置後の草刈りなどもあまり必要としません。欠点は、作物が見えてしまうことです。

金網柵（針金を格子状に編んだもの）

高価ですが、シカに向いています。欠点は、網の目が大きいとイノシシに食べられる可能性があります。また、作物も見えてしまいます。

防護柵の設置例



※シカ対策で使用する場合は、金網柵もしくは溶接金網柵を使用し、2mの高さが必要です。

フラスワン・アドバイス

20~30° 折り曲げ

30cm

溶接金網の上部を折り曲げる

金網忍び返し柵は、近畿中国四国農業研究センターで開発されました。イノシシは柵の40cm程度手前でジャンプして柵を飛び越す習性があります。これを利用して、溶接金網の上部を外側に20~30cm折り曲げることで、飛び越せないと思わせる効果を出しています。今のところ侵入例はありません。

金網忍び返し柵
(近畿中国四国農業研究センター提供)